

医薬協業に向けた 規制の合理化

～地域医療を支える薬局・薬剤師の実現に向けて～

 **ファルメディコ株式会社**

狭間 研至

私のバックグラウンド



医師



薬局経営



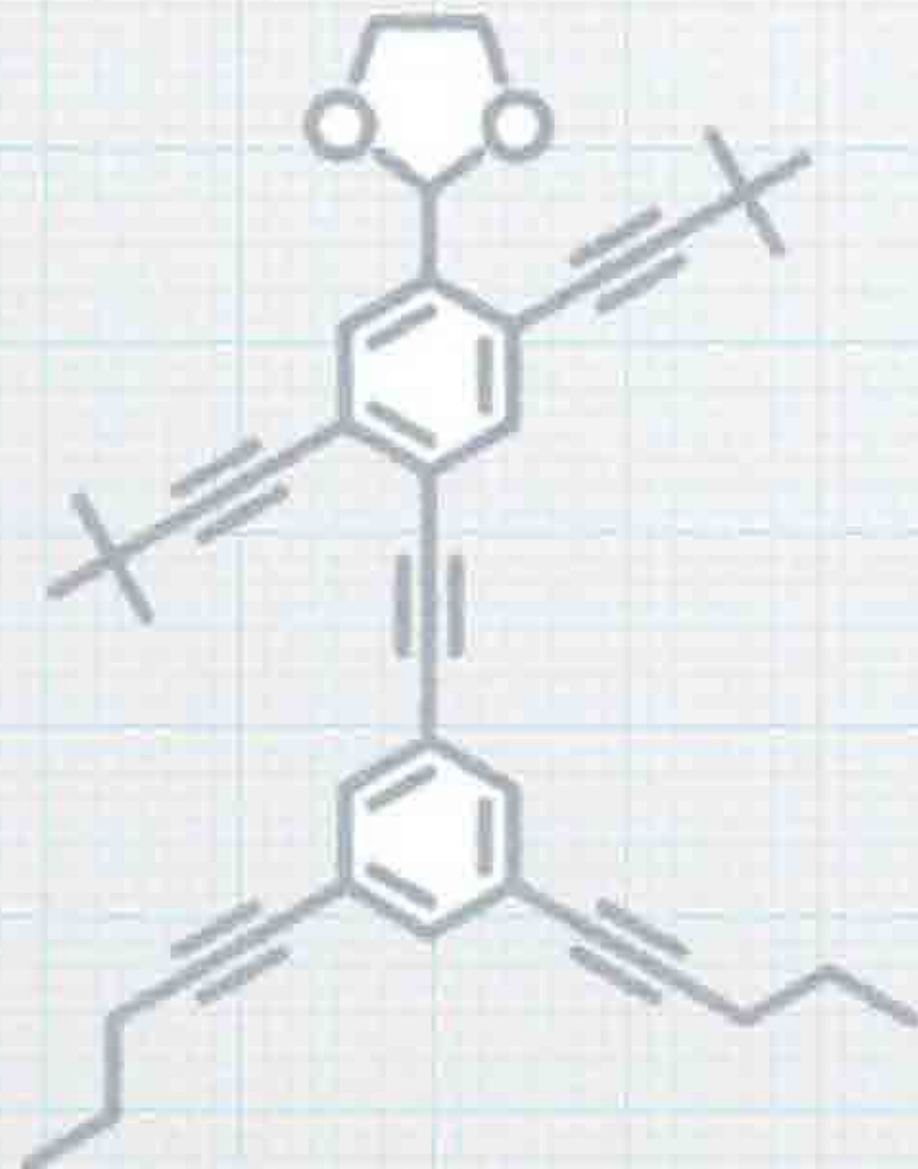
薬剤師・薬学教育

医師はタスク・シフト/シェアにより診断と救命に特化していく
薬剤師は渡すまでではなく、服用後までフォローする
医師と薬剤師は協業して薬物治療の適正化に取り組む

6万軒の薬局・18万人の薬局薬剤師の活用！

薬剤師の専門性

薬理学



効果を発揮する仕組み
副作用発現の仕組み

薬物動態学



いつ頃効果を発揮
いつ頃体外に排出

製剤学



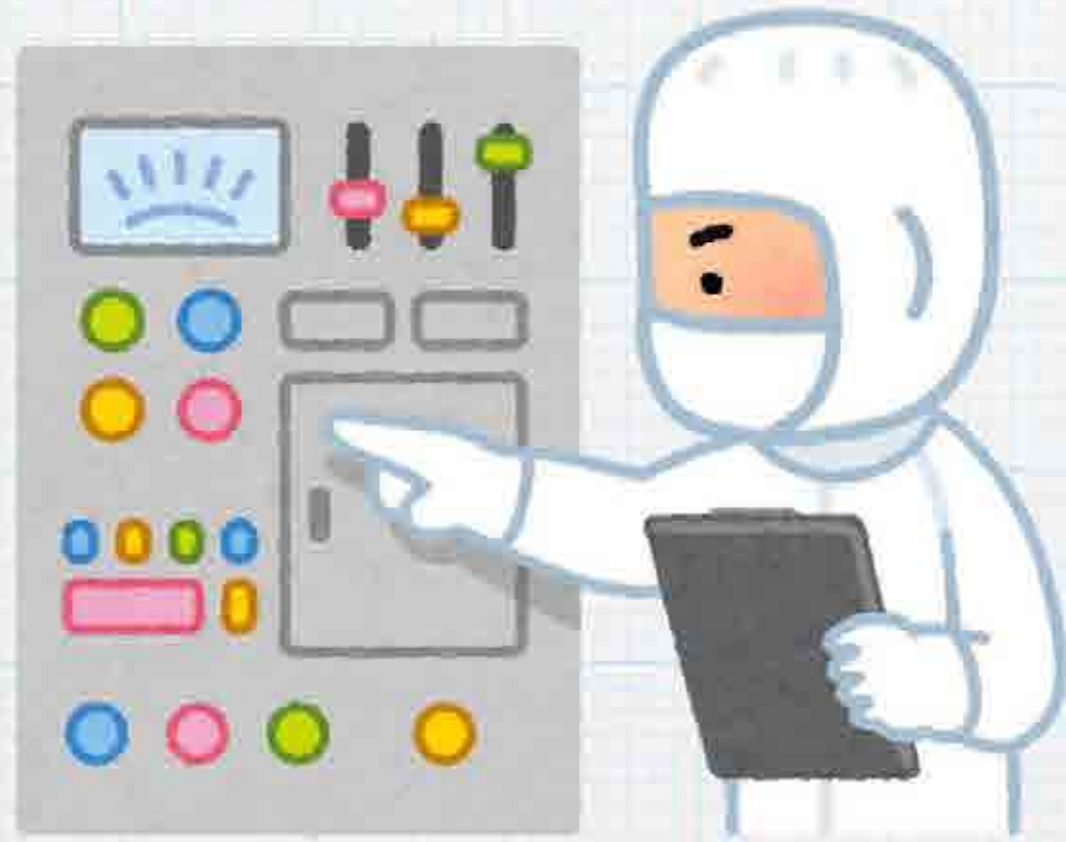
剤形の特徴と投与方法
粉碎や溶解の可否

医師とは異なる専門性で患者の謎が解ける

薬剤師の専門性が活かせる場面

前

調剤技術
服薬指導
薬歴記載



服用



後

薬理学
薬物動態学
製剤学



薬学的専門性の低下

薬学的専門性の発揮

渡すまで(対物)ではなく、のんだ後(対人)まで

医療機関

診察 処方



Feedback

処方の適正化

服用

薬局



Assessment

薬学的
専門性の発揮



服用後の



Follow

対人

疑義照会



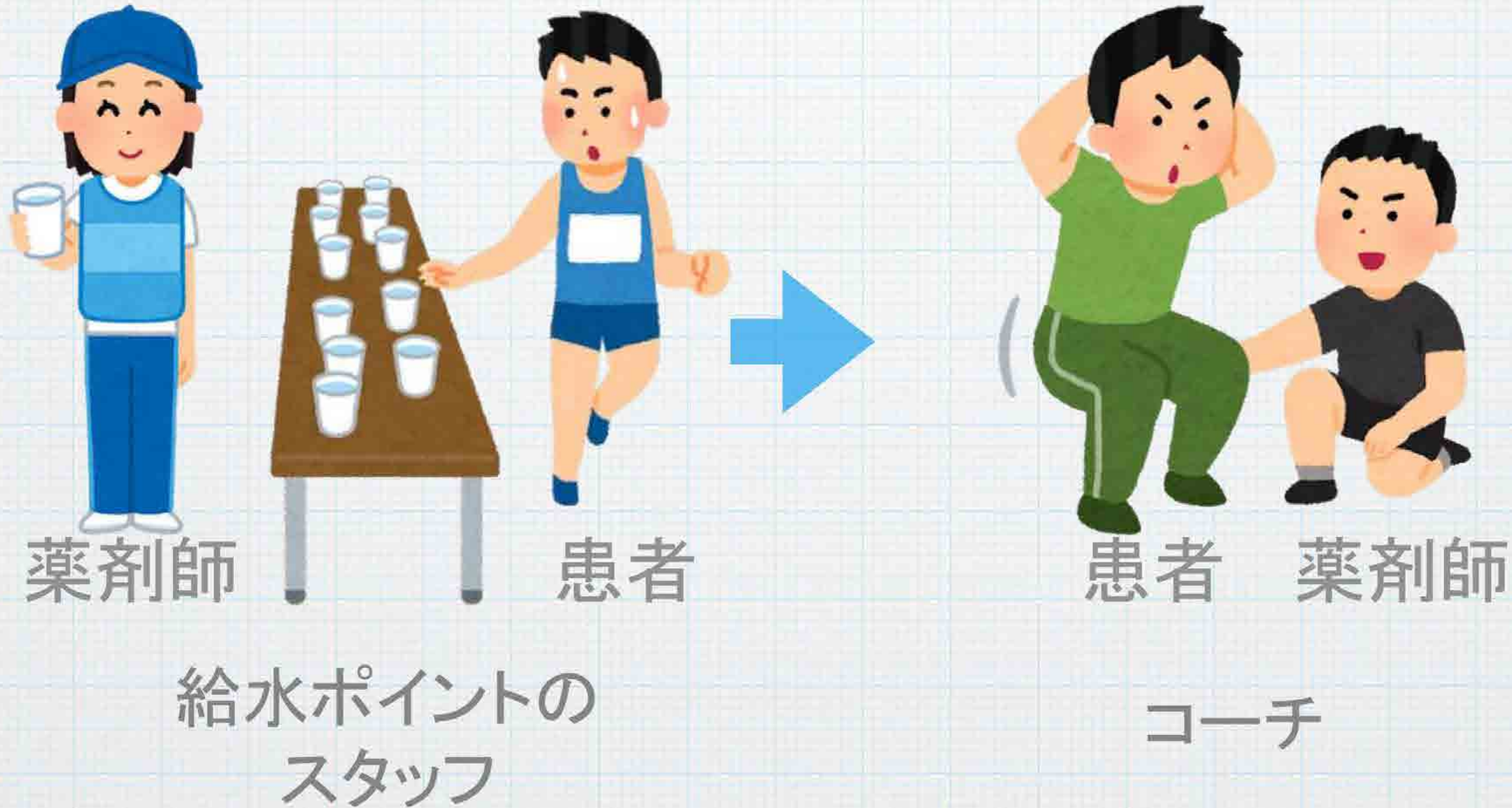
対物



服薬指導

調剤

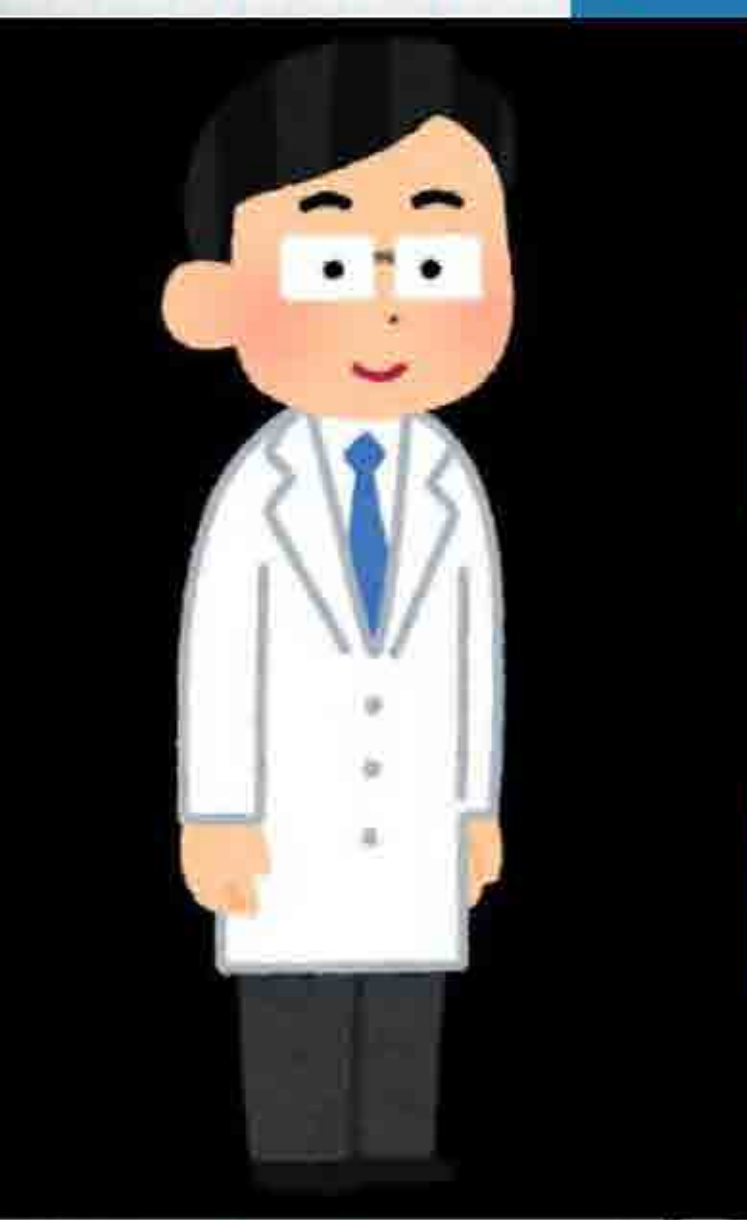
薬剤師の立ち位置が変わる



薬剤師の専門性と個性が求められる

医薬分業における問題点

医師



診察
↓
診断
↓
処方



薬剤師

処方監査
↓
調剤
↓
服薬指導



患者

症状AにXを処方
↓
症状BにYを処方
↓
症状CにZを処方



「お薬受診」に多忙

専門性発揮しづらい
→「対物」業務

ポリファーマシー